

# 2012年度 学校評価報告書 ( 京都聖母学院小学校 )

|      |  |
|------|--|
| 学校目標 | 建学の精神を基盤にした教育を進める中で、主体的に考えて行動できる創造性豊かな子ども、自らの行為に責任を持つ誠実な子ども、他者を大切にし奉仕の喜びを知る子どもを育成する。 |
|------|--|

|      |   |
|------|---|
| 重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. カトリックの人間観世界観に基づいた心の教育の充実をはかる。</li> <li>2. 授業規律のもとでの集中できる参加したくなる分かる授業の確立をはかる。</li> <li>3. 児童が達成感を持って成長でき好きになる学校を目指す。</li> <li>4. 保護者・地域から信頼され支援・協力を得られる学校づくりを目指す。</li> </ol> |
|------|---|

| 学校自己評価 |                                    |  |   |   | 学校関係者評価  |
|--------|------------------------------------|--|---|---|--|
| 目標     |                                    |  | 評価  |   | 学校関係者からの意見・要望・評価等  |
| 番号     | 重点目標                               | 具体的方策  | 取組の成果   | 次年度への課題と改善  |  |
| 1      | カトリックの人間観世界観に基づいた心の教育の充実をはかる。      | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 職員に宗教研修を実施し、カトリック学校に奉職することへの感謝と自覚をもち、学校生活の中で子どもたちの自己肯定感を育てる努力を行う。</li> <li>② 『褒める教育の充実』により、互いに認め合い、尊重し高め合うことのできる学級集団づくりを目指す。</li> <li>③ 他者のために自分の時間を使うことの喜び・尊さを理解できるよう、折に触れて『ボランティアの心』を涵養する。</li> </ol>                               | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 外部から著名な講師を招聘し2回の研修会を実施した中で、カトリック学校の教員としての自覚を一層高めることができた。</li> <li>② 朝礼時に、顕著な活躍をした児童を表彰したり、学校生活内での様々な事例を挙げて褒めるべき点・感じた点を話すなど、折に触れて良いところを見つけては理由を話して褒める雰囲気づくりに心掛けた。その結果クラスや学年でも他者のよいところを見つめる意識付けができた。</li> <li>③ ルワンダレスキュー隊の支援先のプロジェクトからの来校を得て、ルワンダの現地での様子など見たり話を聞く中で、子どもたちの取り組みで集めた支援金を手渡すことができ、ボランティアの心を実感することができた。バザーで協力いただいている保護者の参加も得た。</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 宗教授業カリキュラムの見直しと宗教授業を担当できる教員を職員室内に増強する必要性に気づき、取り組みに着手した。併行して、宗教行事の再構築も考える必要があることに気づき、宗教チームとして活動できるよう準備した。</li> <li>② 学校生活全般を通して、本校ならではの規範の意識確立の再検討も必要と考え、指導の工夫と改善を考え始めている。</li> <li>③ 委員会や宗教行事・ルワンダ活動等、全校児童一人ひとりが自分も何らかのかかわりを持っていると自覚できるように運用していきたい。</li> </ol> | <p>【評価の在り方について】</p> <p>保護者の皆さまからいただいた評価アンケート回答に加え、昨年度からは教員の自己評価アンケートも参考にした。今年度からは、さらに児童からの声をくらしの振り返り用紙により汲み取って、総合的に学校評価を実施した。</p> <p>【取組の成果と課題について】</p> <p>①宗教教育について<br/>                     ＊カトリック精神に基づいた人間教育について、保護者からの期待はどのあたりまでなのか、意見を伺うことができた。その中で、宗教色を出しすぎることには学校は遠慮せず、建学の精神に基づく教育の根幹をもっと積極的に前面に出すことを念頭に置いてよい、いや置かねばならないと考えた。</p> <p>＊初期の同窓生から在学時代の宗教授業の内容を伺った。半世紀を経た今も心に刻まれていることにまず感動し、聖書を中心としたマリア様の話も話し聞くとことのできる授業内容を、来年からの宗教授業構築の参考にしていきたい。</p> <p>②その他<br/>                     ＊子供たちの様子について、保護者からのアンケートと教員からの同じ質問項目のアンケートで、評価がずいぶん異なっている項目があることについて、教員は児童生徒の大勢を対象として見て判断して回答するが、それに対して保護者は特定の自分の家の子もだけを対象として見て回答する傾向があるので、この観点の違いが数字の違いに反映していると考えられる。</p> <p>＊保護者アンケートの自由記述欄からは具体的に多くの意見をいただいた。ご家庭からの学校に対する期待や希望がいかにか大きいかがよく理解できた。少数人からの意見であっても真摯に受け止め今後に生かしていきたい。</p> |
| 2      | 授業規律のもとでの集中できる参加したくなる分かる授業の確立をはかる。 | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 校内研究部を中心に研究授業・公開授業を活発に実施し、教員各人の授業スキルを高める。</li> <li>② 校内初任者研修を活発且つ親身になって実施し、本校教員としての自覚を持ち早く自立させる。</li> <li>③ 全教員が研修の重要性に目覚め、日々の授業力アップをめざし研鑽する。</li> <li>④ 専門の講師を継続的に招聘し、研究授業の指導を依頼する。</li> </ol>                                       | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 研究授業・公開授業、その事前事後の研修会など回数多く活発に充実して実施できた。</li> <li>② 専門の外部講師の協力のもと、横断授業参観の機会が持てたり事後研修会での積極的な学びも実現できたり、教員の研修に対する意識の高揚が実感できた。</li> <li>③ 新任研修会のほかに普段の授業の様子においても、新任の先生には先輩教諭がきめ細やかに寄り添い励まし支援し、専任教員の成長が顕著であった。</li> <li>④ 校外の研修会に多く参加し、それぞれの学びを深めることができた。</li> <li>⑤ 公開授業付き全国研修会を本校で開催できたことは、教員一人一人にとって自己研修のための有効な機会となった。</li> </ol>                       | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 公開授業や研究授業が活発に実施されたが、他の学級も授業中という設定の中では、研究授業に参加がしにくい。全員が回数多く研究授業に参加できるように体制づくりの検討が必要である。</li> <li>② 回数多く、また何人もの研修指導者を外部講師として呼べればと希望するが、費用の工面に頭を悩ますところである。</li> <li>③ 引き続き、校内研修を活発に重ねていきたい。</li> </ol>  |  |
| 3      | 児童が達成感を持って成長でき好きになる学校を目指す。         | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 児童に発表の場を多く与える努力を行う。</li> <li>② 放課後のクラブ活動の活発化や、校外の活動への取り組み支援なども図る。</li> <li>③ 班登下校や清掃活動、学校行事などでの縦割りの活動をさらに充実させ、上級生下級生の信頼関係の中で、学校生活に魅力を持てるようにする。</li> </ol>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 朝礼や学年会などで行事後の報告・まとめを中心に児童の発表を回数多く実施できた。また、絵画、工作、習字など展示発表の機会も例年通りであるが多く持てた。</li> <li>② クラブは活発に活動でき、中には全国大会へ出場を実現するなどあり、全校が応援する中でクラブ以外の児童も関心を持った。</li> <li>③ 運動会では、クラブの吹奏楽演奏に合わせて入場行進することを実現でき、児童・教員ともども力を出し合って作り上げる学校行事であることを実感できた。</li> </ol>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 発表の機会を全校児童に回数多く体験させたいが、教育課程の縛りの中で時間的になかなか実現が難しい。</li> <li>② クラブの数も増やし更に活発化したいが、土曜チャレンジや各種補習活動などとの競合も気になることで課題である。</li> </ol>   |  |
| 4      | 保護者・地域から信頼され支援・協力を得られる学校づくりを目指す。   | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校だより・学年便りを回数多く充実した内容で発行し、学校の様子を知っていただく。本町通りの掲示板に学校便りを掲載し、地域の方々にも学校の取り組みを知っていただく。</li> <li>② ホームページでも、学校の様子を内外に知ってもらうために、各行事ごとに担当者や担当学年が定期的に更新作業を行う。</li> <li>③ 広報活動に力を入れる。</li> <li>④ 深草地域の行事にも多く参加し、地域から見守っていただける学校を目指す。</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校説明会など外部へ資料を配布する際には学校だよりも同封して、普段の学校の様子を伝えられるようにした。</li> <li>② ホームページの案内を見ての問い合わせなど多くなっていると感じるので、タイムリーに更新作業のできる工夫の必要性を実感する。</li> <li>③ 新規の開拓を行い広報活動の場を広げる努力を行った。</li> <li>④ 深草地域との交流はかなり回数が増えた。(100円商店街、ふれあいプラザ)商店街の店主を授業に招き取組も実現できた。</li> </ol>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>① ホームページを見てくださっている実感がある中、更新作業の遅さやインバート不足を痛感する。できるだけ迅速かつ魅力的なホームページ実現を目指す。</li> <li>② 多くの父親が休みの土曜日にチャレンジサマーやわくわく体力測定などの行事を入れて協力関係を目指したいが、土曜の学校行事が多くて、思うような設定が困難。</li> </ol>  |  |